

おしえて！

感染症 さがみはら

2025年11月

☆11月は薬剤耐性対策推進月間です



今月のテーマ：薬剤耐性（AMR）菌

「薬剤耐性（AMR: Antimicrobial Resistance）」とは細菌などの病原微生物に対し抗菌薬が効かなくなることの意味し、そのような耐性を獲得した細菌を「薬剤耐性菌」と呼んでいます。近年、薬剤耐性菌が世界中で増えており、死亡者の数は年間127万人にのぼると推計されています（2019年）。このまま何も対策をとられなければ、2050年には全世界で約1,000万人が薬剤耐性菌関連によって死亡すると想定され、がんによる死亡者数を上回ると言われています。

薬剤耐性菌の増え方



ポイント

薬剤耐性菌がいる状態で抗菌薬を中途半端に服用すると病原体を抑えつける常在菌がいなくなり、かえって薬剤耐性菌が増えてしまうことになります。

また、いつも薬剤耐性菌に置き換わるわけではありませんが、抗菌薬を使うほどその機会が増えてしまいます。

薬剤耐性菌が増えていくとどうなる？～危険性について～

- ① 感染症の治療が遅れてしまう⇒重症化のリスクが高まる
- ② 抗菌薬が効かず治療手段のない薬剤耐性菌が出現する

日本における代表的な薬剤耐性菌

- ・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）
- ・フルオロキノロン耐性大腸菌（FQREC） など



国立国際医療研究センター病院AMR臨床リファレンスセンターの調査では、上記2種類の薬剤耐性菌の菌血症で年間8,000人が死亡していると公表しています。

★相模原市感染症情報センターでは毎週感染症に関する情報を掲載しています

薬剤耐性菌を増やさないためには？

必要がないときは抗菌薬（抗生物質）を飲まないようにしましょう。また、処方されたら医師の指示どおりに飲むことが大切です。勝手に止めたり、量や回数を変更しないようにしましょう。



抗菌薬は医師の指示どおりに飲み切りましょう



抗菌薬を余らせたりとっておかない



抗菌薬をもらったりあげたりしない



わからないことは医師や薬剤師に聞きましょう

抗菌薬は、細菌に有効な薬です。
ほとんどの「風邪」の原因であるウイルスなどには効きません。

今すぐに行える対策

感染症を予防することで、薬剤耐性の予防にもつながります。日々手洗いを心がけ、必要なワクチンはきちんと接種し、感染症を予防しましょう！

正しい手洗い



ワクチン接種



咳エチケット



= 市内の薬剤耐性菌感染症発生状況は毎月月報で報告しています =

◎保健所医師のコメント

薬剤耐性菌の拡大を防ぐためには、処方された抗菌薬を医師の指示通り服用することが大切です。不適切・不十分な服用をすると、抗菌薬が効かない薬剤耐性菌が生まれてしまうことがあります。



相模原市 感染症情報センター



発行 相模原市衛生研究所